

中小企業等DX導入促進・推進人材育成事業企画運営業務企画提案実施要綱に基づく質問に対する回答

番号	質問受付日	対象項目	質問	回答
1	4月30日	(1) DX接点創出	プッシュ型でアプローチする企業100件は(3)DX導入支援の100件と同一と考えてよろしいでしょうか。もしくはプッシュ型でアプローチする100件と導入支援する100件は別枠であり、一部重複を可とするものでしょうか。	仕様書「1 目的」に記載している「現場伴走・プッシュ型で県民・企業のDX推進支援を100件超行う」という記述は、プッシュ型でのアプローチ(営業・声がけ)を行う件数が100件超であるという意味ではなく、プッシュ型でのアプローチを通じて導入支援等を行い、その結果としてDX導入支援の実施件数が100件超となるよう事業を実施するという意図の記載です。 したがって、ご質問にあるような「プッシュ型でアプローチする企業100件」という別枠は設定されておらず、「1 目的」にある「DX推進支援100件超」と「3 (3) DX導入支援(計100件以上)」は、同一の指標を指しております。
2	4月30日	(2) DX普及啓発・情報発信	「一般向け」は広く市民を指すものと理解しておりますが、「無関心層」のターゲットは企業・市民のいずれを想定されていますでしょうか。両方を対象とする場合、優先順位が高いのはどちらでしょうか。	「無関心層」のターゲットは企業を想定しておりますが、県民を排除するものではありません。
3	4月30日	(2) DX普及啓発・情報発信	特設サイトを運用するうえでの目標指標は、ページビュー数でしょうか、それとも研修申込数でしょうか。他にもあればご教示ください。	特設サイトはあくまで道具としての位置づけなので、特設サイトそのものについて、県として目標指標を設定しておりません。 導入支援実績や研修の申込数を重視するため、そこに繋がる運用を目標としてください。
4	4月30日	(2) DX普及啓発・情報発信	特設サイトの庁内サーバ環境の技術仕様(OS/ミドルウェア/言語/SSH可否)について情報提供頂く事は可能ですか?	仕様書上は「県が管理する庁内サーバ領域に設置された特設サイトとして運用することを前提とする」としましたが、その後の庁内調整の結果、技術的な問題があり、庁内サーバ領域への設置を断念しました。 受託者が調達したサーバ領域にて運用することを前提に、ご検討をお願いします。 なお、この回答に合わせて仕様書を修正しました。別添仕様書をご確認ください。
5	4月30日	(2) DX普及啓発・情報発信	SNSの運用にあたっては、県が定める山梨県ソーシャルメディア運用マニュアル等を遵守と記載がございますが、県庁HPのDX課ソーシャルメディア運用方針を参照すれば問題ないでしょうか?	山梨県広聴広報グループが作成した、なりすまし防止やインシデント発生時の対応などについて定めたマニュアルが内部資料として存在します。実際の運用の際には内容を共有いたしますので、そちらをご参照ください。
6	4月30日	(3) DX導入支援	令和7年度調査報告書を共有していただくことは可能ですでしょうか。	企画提案段階で報告書を共有することはできません。なお、業務委託後に、効果的な業務遂行のために必要な情報を共有することは可能です。
7	4月30日	(3) DX導入支援	企業100件すべて建設業、製造業とすることは可能ですでしょうか。	県内の様々な業種への支援を想定しています。 中長期支援の中心となる建設業、製造業に対して重点的にアプローチをする方針は否定しませんが、他業種を除外することは避けてください。
8	4月30日	(3) DX導入支援	「実施数の内訳」とは、100件のうち、中長期支援〇件、短期支援〇件、その他の区分〇件といった支援区分ごとの内訳でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。

9	4月30日	(3) DX導入支援	契約時における「当該経費の上限額」というのは、中長期支援区分の伴走支援に係わる1件あたりの人件費および交通費の合計×100件という理解でよろしいでしょうか。	伴走支援を実施するために必要となる経費について、貴社が「人件費および交通費」であるとお考えなのであれば「当該経費の上限額」については、お見込みの通りです。人件費および交通費以外に必要な経費（テキスト代、ツール導入初期コンサル費など）があるとお考えであれば、その経費も含めてご検討ください。
10	4月30日	(3) DX導入支援	アンケート調査は令和7年度の追跡調査に加え、新規で実施する想定でしょうか。	お見込みの通りです。
11	4月30日	(3) DX導入支援	支援の区分②短期支援箇所に、汎用的なSaaSツール等との記載がありますが、「等」にはどのようなものを含みますか？	R7年度に中小企業等DX加速化支援事業で実施した、Googleビジネスプロフィール設定支援、SNS運用支援、生成AI動画作成支援等のSaaSツール以外のDX加速化に有効な支援サービスを想定しています。
12	4月30日	(3) DX導入支援	「令和7年度事業の調査により、建設業、製造業への支援にニーズがあることが明らかとなった。また、令和7年度事業の調査結果によりツール導入が効果的と見込まれると」記載があるがどのような支援・ツールが効果的か現状把握できないため、情報提供願います。	令和7年度の調査において、建設業・製造業の小規模事業者は人手不足解消やバックオフィスの効率化に課題を抱えていることが明らかになりました。他方、その改善に回すリソースがなく、目先の売上拡大に直結する集客・PR支援へのニーズが高いことも明らかとなりました。 このため、現場を効率化するための専用ツールを導入することや集客・PR支援から入りDX導入の成功体験を段階的に積むことが効果的と見込んでいます。 具体的な支援方法やツールについては、御社のDX支援実績により有する知見を踏まえてご提案願います。
13	4月30日	(3) DX導入支援	支援の区分に示す「中長期支援」と「短期支援」について支援期間・支援内容等の定義はございますか？	企業によって異なることを想定していますが、概ね「中長期支援」は5～8か月程度、「短期支援」は4か月以内を想定しています。